



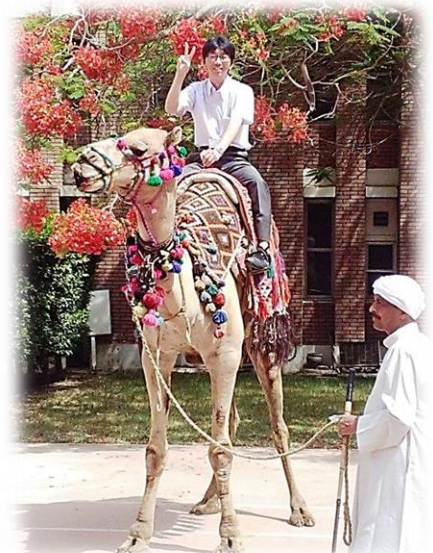
カイロ日本人学校の授業参観

5月13日（金）に授業参観がありました。カイロ日本人学校は、広く日本人の方に学校のことを知っていただき、一人でも多くの子どもたちに入学していただく目的で、**保護者だけでなく日本人会の会員の皆様にも授業を参観していただいています。**この授業参観の日を「**学校開放日**」と呼んでいます。

外国の学校なので、日本の教材や教具が手に入らないものもあります。例えば、基本的な文房具ののりは、スティックのりはエジプトにもありますが、日本にあるような粘着性の高い水のはありません。習字の授業で使う墨汁や半紙もありません。このようなものは、日本に帰った人が買ってくるか**海外子女教育振興財団**という組織を通じて購入します。購入すれば、当然輸送費が高くつき時間もかかります。ワークや資料集も海外子女教育振興財団を通じて日本から購入します。だから、みなさんが使っているのと同じワークや資料集を使っています。ただし学校に届くのが5月の下旬頃です。2か月近くワークや資料集なしで学習しています。

このように不便なことがたくさんありますが、エジプトだからできる学習もたくさんあります。例えば、今回の学校開放日では、**ラクダを学校に呼んで、小学生の生活科や図工の授業を行いました。**カイロ日本人学校は、歴史の教科書に載っているギザの**三大ピラミッド（クフ王、カフラー王、メンカウラー王）**のすぐ近くにありま

す。ピラミッドでは、観光客をラクダに乗せる商売があり、そのラクダを飼育している人が学校の近くにたくさんいます。そのラクダを呼びました。休み時間には、ラクダに乗ることもできます。ラクダの背は思った以上に高く、とても気分がいいです。ただ、乗り降りする時はラクダが前かがみになるので、手でしっかり自分の体を支えないと落ちてしまいます。ラクダを教材するような授業は、日本の学校ではまず考えられません。このラクダのレンタル料金は350LE（エジプトポンド）。日本円にすると約4200円（1LE＝約12円）です。



ラクダに乗って記念撮影（学校のグラウンドです）

他には、家庭科の授

業で保育の単元がありますが、エジプトの保育園や幼稚園に行って実習を行うことができません。まず、言葉が通じないし実習生を受け入れるという考えがないからです。そこで、この学校開放日に幼児を募集し、実習をさせていただきました。

エジプトで生活していると、**無いものを作り出したり何かに代用したり（時には修理したり）と工夫するようになりました。**それに対して、**何でもお金で手に入れることができる日本。日本はこれでもいいのかなあと考えてしまいます。**